

2011年11月1日

清水建設株式会社
代表取締役社長 [] 殿
清水建設株式会社取締役副社長
関西事業本部長 [] 殿
清水建設株式会社関西事業本部・大阪支店
大阪支店長 [] 殿

仰木の里まちづくり連合協議会
会長 []



抗議申入書

去る10月17日より何ら予告もなく強行着工されている、学校法人幸福の科学学園関西校校舎棟・寄宿舎棟の工事に関して、近隣住民への工事説明会が未だ開催されていない状況で、工事が進行しております。

10月20日付、当会より貴社、代表取締役、取締役副社長・関西事業本部長、関西事業本部・大阪支店長宛への書留速達にて送付いたしました抗議書に対する回答もいただいております。このように近隣住民を無視するかのような姿勢を取り続ける清水建設株式会社に強く抗議するものであります。

7月30日の中高層説明会の積み残し課題が解決された上で、工事の説明を受けるという、住民と貴社の双方で確認があったにもかかわらず、10月2日に工事説明会と称して開催されるに至るも、住民の納得のいく説明もなく、課題は残されたままの状態です。

その上で当会より、これ以上紛糾することなく工事の説明を受けるために、予めどのように進めていくか協議をするため準備会を申し出ました。ところが貴社は10月20日の準備会を承諾されながら、準備会実施前の17日には近隣住民に知らせることなく、工事を強行着工されました。

工事説明会を行わないまま11月1日をむかえ、貴社は本格的に工事を強行されようとしています。これは仰木の里の地区に住まいする私たち住民の日常生活の安全に関わる重大な問題であり、住民の不安はますます募っています。

また工事説明資料なるものを無断で全戸にポスティングされました。直接面談して資料に基づき丁寧に説明することなく、このような一方的な対応のみで、近隣住民に全く歩み寄ろうとされない貴社の企業理念は、現代社会においては許されるものではなく疑問を感じざるをえません。

配布資料は工事説明会開催の際に受け取らせていただきますので返却いたします。

中高層説明会の積み残し課題を解決した上で、近隣住民への工事説明会を開催し、生活上の不安を解消するという、ごく当たり前の対応をすることによって、貴社の社会的責任を果たされるまで工事を中止されることを申し入れます。